

一部の製品の自動ソフトウェアアップデートが利用できない

問題の説明

2020年9月30日、Cisco Automated Software Distribution(ASD)サービスは、Cisco Small Businessポートフォリオの一部の旧製品で使用されているレガシーAPIバージョンを廃止します。その結果、これらの製品ではファームウェアのアップデートを自動的に識別して適用することができなくなります。次の製品が該当します。

- Cisco FindITネットワーク検出ユーティリティ、バージョン2.0.4以前
- Cisco RV130およびRV130W VPNルータ (すべてのファームウェアバージョン)
- Cisco RV215W Wireless-N VPNルータ (すべてのファームウェアバージョン)

回避策

FindITネットワーク検出ユーティリティでは、ユーティリティをバージョン2.0.5以降にアップグレードすることで、ASDサービスの使用を復元できます。2.0.5アップデートは、Cisco Software Centerから手動でダウンロードできます。URLにアクセスするには、[ここ](#)をクリックします。

RV130、RV130W、およびRV215Wルータプラットフォームは販売終了であり、新しいASD APIバージョンをサポートするように更新されることはありません。これらのプラットフォームのソフトウェアアップデートは、Cisco Software Center (登録ユーザ専用) から手動でダウンロードし、管理グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)を使用してデバイスに適用できます。

ソフトウェアアップデートは、次のプラットフォームで利用できます。

- [RV215W](#)
- [RV130シリーズ](#)
- [RV130Wシリーズ](#)

販売終了および推奨される交換の詳細については、[販売終了の速報](#)を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。